

# U18/U16 陸上競技大会(2024 in MIE) 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟規則および、競技会における広告および展示物規程、並びに本大会の申し合わせ事項による。また、本大会はWRK対象競技会として実施する。ただし、U16大会は除く。

## 2 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は、全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。【TR5.2】

## 3 練習会場について

- (1) 練習は指定された会場で、【練習会場使用日程表】及び【練習会場での注意事項】を熟読の上、実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、練習会場については係の指示に従うこと。特に投てき練習については、監督の付き添いのもと、安全に留意して行うこと。

## 4 招集について

- (1) 招集所は、第1ゲート（フィニッシュ側ゲート）外側に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、競技日程を参照のこと。
- (3) 招集方法については、次の通りとする。
  - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン及び競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標点検を受ける。その際、トラック競技の競技者のみ腰ナンバーカード（2枚）を着用する。
  - ② 男女3000m競歩については、競歩用ビブスを配布するので、背・胸に着用する。
  - ③ ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。【TR6.3】
  - ④ 代理人による招集の最終確認は認めない。
  - ⑤ 出場種目を欠場する場合は、TICに用意してある「欠場届」に必要事項を記入して、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

## 5 競技について

- (1) ビデオ監視システムを使用し、判定を行うことがある。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 不正スタートについては、300mまでの種目では、判定の補助としてSIS(スタート・インフォメーション・システム)を使用する。
- (4) セパレートレーンで実施するトラック競技では、欠場者のレーンはそのまま空ける。
- (5) 男女3000m競歩においては、ペナルティゾーンを設ける。【TR54.7.3】
- (6) 走高跳を除くフィールド競技の計測は、全て光波距離計測器を使用する。
- (7) フィールド競技における競技場内での練習は、競技役員の指示により行う。公式練習は、2回とする。ただし走高跳の公式練習は、回数に関係なく時間で行う。
- (8) フィールド種目の試技数と試技時間については、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、ジャベリックスローは、全ての競技者に3回の試技が与えられる。試技3回終了時点の上位8名には、さらに3回の試技が与えられる。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- (9) フィールド種目の試技時間については、走幅跳・三段跳・投てき種目は、45秒とし走高跳・棒高跳は、60秒とする。
- (10) フィールド競技は、走高跳を除いて主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり・ジャベリック

クスローの競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2ヵ所置くことができる。サークルで実施する投てき種目では、各競技者の試技中に一時的に、マーカーを1ヵ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接しておくこと。使用することができるマーカーは、希望者に競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。ただし、走高跳のマーカーは各自が用意したもの(粘着テープ)とする。なお、使用したマーカーは、競技終了後各自で回収すること。

- (11) 棒高跳に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動することができる。  
ただし、希望する支柱の位置を予め「アップライト申告書 (TICにて用意)」に記入して、招集所に提出しなければならない。また、競技開始後に、事前に届けた支柱の位置の変更を希望する場合は、支柱がセットされる前に当該競技役員に申し出ること。なお、公式練習は、ゴムバーを使用して行う。
- (12) 三段跳の踏切板は、U18男子は13m・女子は10m、**U16男子は11m**・女子は10mで実施する。
- (13) 競技者に対する競技場内での助力は禁止とする。助言については、「コーチングエリア」で行うものとする。  
●本大会では安全上の理由から走幅跳・三段跳(メインスタンド)については、競技中に選手以外の者が選手に映像を示す場合、映像提示者は映像機器を直接手で保持して競技者に示すこと。スタンドから身を乗り出すようなことは禁止とする。(自撮り棒や紐等は使用禁止。)  
但し、他のフィールド種目については、競技場所に接近したコーチングエリアから当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ることがや映像機器を直接手で競技者に渡して操作することができる。【TR6.4.5】
- (14) 競技者は、審判員の許可を得ることなく、競技場を離れることはできない。【TR25.19】
- (15) 電子機器を競技エリアへの持ち込むことは禁止する。持ち込んでいる場合は、助力とみなされる場合がある。
- (16) シューズの靴底(ソール)の厚さについて【TR5.2】  
●シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。  
●トラック種目について、800m未満の種目(ハードル種目を含む)は20mm以下、800m以上の種目(障害物競走を含む)は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。  
●フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。  
※WA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。  
※競技用シューズについては【TR5.2】に基づいて実施する。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。  
●競技用靴の承認状況については、下記により最新のものを確認すること。  
<https://certcheck.worldathletics.org> からメーカー名、モデル名で検索するか Full List から全承認済モデルを閲覧することができる。それぞれのモデルにおいて使用が許可されている種目が記載されている。APPROVED と表示されていても記載のない種目では使用できない。
- (17) <ジャベリックスローについて>  
① 本競技会では、「ターボジャブ VII」を使用予定。  
なお、大会では主催者が用意した器具を使用することとし、持ち込みは受け付けない。  
② 投法はやり投競技に準ずるが、距離の計測は器具が地面に最初に触れた地点から計測する。複数面が同時に着地した場合は、最短距離を計測する。
- (18) 提出書類は、下記のとおりとする。これらはすべてTICで受け取ること。なお、TICは競技場正面入口前に設置している。

	提出書類	用紙提出場所	提出時間
1	欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2	アップライト申告書	招集所	招集完了時刻まで
3	抗議申し立て(口頭)	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
4	上訴申立書	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
5	投てき用具検査申請書(預かり証)	TIC	招集開始1時間30分前から、招集開始時刻まで
6	記録証交付願	TIC	競技終了後、随時
7	プログラム訂正用紙	TIC	※日本陸連サイトよりエントリーのため、原則認めないこととする。

- (19) 走幅跳・三段跳・砲丸投においては、メインスタンド側をAピット・バックスタンド側をBピットとする。  
(20) 棒高跳においては、第3コーナー側をAピット・第2コーナー側をBピットとする。

## 6 抗議と上訴について【TR8】

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果が正式発表(大型映像表示時刻)されてから30分以内、同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内に審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は、TICを通して抗議担当総務員に申し出ること。  
(2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、競技者、当該競技者の監督またはチームの代表者により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通じてジュリーに提出しなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による説明から30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。また、ジュリーの裁定後に新たな変更可能な決定的証拠が提示された場合は、裁定を再考するが、それ以外の場合では、ジュリーの裁定に従わなければならない。

## 7 アスリートビブス(以下ビブス)について【TR5.7】

ビブスは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、腰の左右後方に着用すること。

## 8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。  
(2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。  
※競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは無地に限る。どちらのテープにおいても商品名・ロゴが記載されたテープを使用する場合は、大会主催者へ書面で申請し承認される必要がある。

## 9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、スタートリスト記載の左側に示された番号順とする。  
(2) トラック競技の決勝については、主催者がルールに則り、レーン順を決定する。フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)の決勝については、3回の試技で上位8位を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。  
(3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき(以下同タイム者という)は、下記の方法で決定する。【TR21】  
●100m・150m・300m・100H・110H・300Hの同タイム者については、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を考慮して進出者を決定する。それでも同成績がありレーンに余裕がない場合は、同成績者または代理人によって大会本部において抽選する。なお、その際アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。  
●800m・1000m・1500mの同タイム者は、決勝ラウンドに進むことができる。  
(4) トラック競技の、100m、150m、300m、100mH、110mH、300mHにおいては、A決勝進出条件を満たした上位8位がA決勝、A決勝進出者を除いた記録上位8位がB決勝に進出することができる。※黄色部分文言を訂正しました。

## 10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき器具において、通知した競技場備え付けの投てき用具リストにないもの及び、1個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。  
※持ち込み希望者は、招集開始時刻1時間30前から招集開始時刻までに、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預かり証」を発行の上一括借り上げとし、出場者全員で共有できるものとする。また、借り上げた用具は、その競技終了後TICで返却する。なお、借り上げ

た用具が破損しても責任を負わない。

- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んで서는ならない。  
 (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、一覧表のとおりである。  
 (4) ハードル種目の規格は次の通りとする。

U16男子 110mハードル		U16女子 100mハードル		U18男子 110mハードル		U18女子 100mハードル	
高さ	ハードル間	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
0.991m	9.14m	0.762m	8.50m	0.991m	9.14m	0.762m	8.50m
				U18男子 300mハードル		U18女子 300mハードル	
				高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
				0.914m	35m	0.762m	35m

- (5) 投てきの重量は次の通りとする。

	U16男子	U16女子	U18男子	U18女子
砲丸	5.000kg	2.721kg	6.000kg	4.000kg
円盤	1.500kg	1.000kg	1.750kg	1.000kg
ハンマー			6.000kg	4.000kg
やり			800g	600g
ターボジャブ	300g	300g		

## 11 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

種目・種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
U16男子走高跳	1m75 1m90	1m80	1m86	1m90	1m94	1m97	2m00	2m03	以降3cmずつ上げる
U18男子走高跳	1m85 2m00	1m90	1m96	2m00	2m04	2m07	2m10	2m13	以降3cmずつ上げる
U16女子走高跳	1m45 1m60	1m50	1m56	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	以降3cmずつ上げる
U18女子走高跳	1m50 1m65	1m55	1m61	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	以降3cmずつ上げる
U16男子棒高跳	3m90 4m30	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	4m60	以降5cmずつ上げる
U18男子棒高跳	4m40 4m80	4m50	4m60	4m70	4m80	4m85	4m90	4m95	以降5cmずつ上げる
U16女子棒高跳	<u>2m80</u> <u>3m10</u> <u>3m40</u>	<u>2m90</u>	<u>3m00</u>	<u>3m10</u>	<u>3m20</u>	<u>3m30</u>	<u>3m40</u>	<u>3m50</u>	以降5cmずつ上げる
U18女子棒高跳	3m10 3m50	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m65	3m70	以降5cmずつ上げる

- (1) 走高跳・棒高跳において、最後の一人になるまで上記の上げ方とする。  
 (2) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、跳躍審判長が決定する。  
 (3) 第1位が同成績の場合による順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。(TR26.9.4)

## 12 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。  
 (2) 全ての競技者は、競技終了後、競技役員の指示・誘導に従い、ミックスゾーン（第1ゲート付近に設置する）を通り退場する。  
 (3) 決勝レース後は、衣類等荷物を第1ゲート付近まで運搬するので、更衣し誘導により表彰者控え所に移動する。

- (4) 第1ゲートで更衣した選手は、競技終了後更衣をし、第1ゲートから退場する。決勝レース終了後、1～8位での入賞者は、第1ゲート付近で更衣をし、誘導により表彰者控え所に移動する。
- (5) 第2ゲートスタートの選手は、第1曲走路外側の芝生を通過して戻る。
- (6) 第3ゲートスタートの選手は、正面玄関前人工芝を通り、第2曲走路外側の芝生を通過して戻る。
- (7) フィールド種目の競技者は、競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。  
9位以下の選手は、競技役員の指示によりミックスゾーンを経由した後、第1ゲートから退場する。1～8位の入賞者は、マーシャルの誘導でミックスゾーンに移動し、入賞者管理係の誘導で表彰者控え所に移動する。

### 13 表彰について

- (1) 各種目の1～3位入賞者には賞状とメダル、4～8位の入賞者には賞状を授与する。
- (2) 1～8位の入賞者は、メインスタンド前中央で表彰する。雨天時は、正面エントランスホール内で表彰する。
- (3) 表彰式の服装は、チームジャージ(上半身はチームTシャツも可)で出席すること。(下半身はジャージ等が望ましい)

### 14 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、メイン競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
- (2) 競技中、明らかに競技続行が困難となった競技者に対し、競技者本人が競技続行の意思を表していても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。
- (3) 荷物は各自で管理すること。紛失等の場合があっても責任は負わない。
- (4) 遺失物は、TICで保管する。
- (5) ベンチ・テントは、許可区域以外に設置しないこと。メイン体育館を待機場所として使用することができる。  
【ベンチエリアについて】及び【ベンチ配置エリア】を熟読の上、設置すること。
- (6) 競技会場及び練習会場への入場時は、ADカードを提示すること。
- (7) メイン競技場内の横断幕及びのぼり旗については、【横断幕・のぼり旗の設置について】を熟読の上、設置すること。
- (8) 車いす用観覧席を本来の目的以外に使用すること(観戦・休憩)は禁止する。
- (9) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (10) 送付された棒高跳ポールは、第4ゲート倉庫で保管しているので、各自で確認すること。
- (11) 会場内にゴミ箱の設置はなく、ゴミは各自で持ち帰ること。

三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場 投てき器具一覧

三重陸上競技協会作成  
2024.9.25現在

器具	種別	メーカー	品名等	Certification No.	規格等	使用予定	合計
砲丸	(2.721kg)	NISHI	鉄製		φ90.5mm,Silver	6	6
	(4.000kg)	NISHI	鉄製	I-99-0084	φ109mm,Silver	3	9
				I-99-0089	φ103mm,Silver	6	
	(5.000kg)	NISHI	鉄製	I-06-0357	φ110mm,Silver	10	10
	(6.000kg)	NISHI	鉄製	I-03-0292	φ117mm,Silver	8	8
円盤	(1.000kg)	NISHI	スーパーHM	I-02-0256	φ181.5mm,Purple/black/white	6	8
	スーパー		I-99-0086	φ181.5mm,Black/red/white	2		
	(1.500kg)	NISHI	スーパーHM	I-06-0359	φ201.5mm,Purple/yellow/white	3	10
			スーパー	I-06-0358	φ201.5mm,Black/red/white	7	
	(1.750kg)	NISHI	スーパーHM	I-07-0390	φ210.5mm,Purple/black/white	7	10
			スーパー	I-03-0293	φ210.5mm,Black/red/white	3	
ハンマー	(4.000kg)	NISHI	タングステン入り	I-14-0700	φ95mm, orange	3	8
			ダグタイル	I-99-0080	φ95mm,blue	3	
			タングステン	I-19-0942	φ95mm, orange	2	
	(6.000kg)	NISHI	タングステン入り	I-06-0360	φ105mm,Green	4	7
			タングステン	I-20-0999	φ105mm,Green	3	
やり	(600g)	NEMETH	クラシック80m	I-99-0102	Violet/yellow/green	2	12
			クラシック75m	I-99-0110	Violet/yellow/red	2	
		NORDIC	ダイアナスチールflex6.2	I-99-0018	Lilac, white	2	
			ダイアナクラシックflex7.2	I-99-0015	Pink/white spiral	1	
		NISHI	HYBRID GENOME X	I-12-0573	White/pink/yellow/black	2	
			スーパーDR	I-01-0235	70m,Silver/yellow/red	3	
	(800g)	NEMETH	クラシック90m	I-99-0100	Violet/yellow/green	2	15
			クラシック85m	I-09-0429	Violet/yellow/magenta	2	
		NORDIC	スーパーエリート90m	I-99-0020	White	1	
			スーパーエリート800flex6.8	I-99-0020	Black/white	2	
			スパーエリートクラシックflex7.0	I-99-0019	追風用,Black/white	2	
		NISHI	マスター-800flex7.5	I-99-0013	Blue	1	
			HYBRID GENOME X	I-11-0506	White/blue/yellow/black	2	
			スーパーDR	I-01-0236	80m,Silver/yellow/red	3	